



2



1



1



3



3

吉原祇園祭



5



吉原祇園祭は、毎年6月の第2土曜日と日曜日の2日間にわたって行われます。こ
としは6月9日・10日に開催され、梅雨ど
きのうっとりしさを吹き飛ばすような盛り
上がりを見せました。



6



4

吉原祇園祭は吉原商店街周
辺の26町、6つの神社が連合
して行われる富士市を代表す
る伝統の祭りです。みこしや
21台の山車の引き回し、おは
やしを奏でる様子は勇壮で迫
力満点。
山車は全国でも珍しく「山
車タイプ」「屋台タイプ」「両
者を巧みに組み合わせたい
プ」の3種類があります。
山車がすれ違うと「競り合
い」が始まり、互いに相手に
負けまいと強烈な音で太鼓や
かねを打ち鳴らします。祭り
の最後には山車が集まって
「競り合い」が行われ、祭り
は最高潮に達します。ちよう
ちんなどに照らされた山車の
美しさ、街じゅうに響くおは
やしの音、吉原のまちはこと
しも熱く燃えました。



浜降り

日曜の早朝、町内ごとに元吉原海岸で潮水をくんで来ます。これを「浜降り」と言います。みこしを担ぐ際、この潮水をみこしにかけて清めます。



土曜日の夕方に行われる「宮太鼓の競演」。山車が取り囲んだ中央に長胴太鼓が置かれ、2人のたたき手によって打ち鳴らすというもので、もともとはみこしが来ることを町内に知らせる太鼓で「呼び太鼓」とも言われます。2人の息のあったばちさばきは見ごたえ、聞きごたえがあります。

宮太鼓



みこし

吉原祇園祭のみこしの特徴は、笹の葉。みこしに山のようにつけています。この笹の葉を自宅に持ち帰り、軒下などに飾って厄よけにします。



1 町内の名前が入ったはっぴなどを着用して山車の上ではやしを奏でる 2 山車がすれ違うときに行われる競り合いは迫力満点 3 町内ごとにさまざまな装飾が施された山車が、吉原・岳南商店街の約1キロメートルを行き交う 4 時代とともに手が増えられ、町内ごとに微妙に違うおはやし 5 子どもも大人も町内ごとにそろいのはっぴに鉢巻き姿 6 夜になり、輝きを増す山車 7 祭りの最後には山車が3か所に分かれて競り合いが行われる